

平成24年度三重県教育改革推進会議第3回第2部会 事項書

日時：平成24年11月19日（月）

14:00～15:00

場所：プラザ洞津「明日香の間」

1 部会長挨拶

2 審議事項

(1) 「県立高等学校活性化計画（仮称）」（案）の策定について

(2) その他

3 連絡事項

平成24年度 三重県教育改革推進会議 第3回 第2部会

日時:平成24年11月19日(月)14:00~15:00
 場所:プラザ洞津「明日香の間」(2F)
 欠席:杉浦委員、奥田委員

報道
傍聴
傍聴

土肥 部会長	
多喜 委員	稲垣 委員
西田 委員	上島 委員
皆川 委員	末松 委員
	田尾 委員

白鳥 次長	小野 副教育長
----------	------------

加藤 学校施設 課長	和田 生徒指導 課長	井坂 特別支援 教育課長	倉田 高校教育 課長	加藤 教育改革 推進監
------------------	------------------	--------------------	------------------	-------------------

--	--	--	--	--

第2回第2部会が出された主な意見

- 三重県型「学校経営品質」の考え方は浸透しているが、机上での計画や評価になってしまっている面があり、教職員が不満を持つ場合があるように感じる。また、副校長や主幹教諭、指導教諭を配置することを検討するとあるが、そのことにより学校が円滑な運営体制を整えられるかどうか疑問である。
- グローバルな舞台で活躍できる人材を育成するための理数教育・英語教育の取組はたいへん良い。このような取組をさらに推進していくべきである。
- 就職希望者の多い普通科における取組の一つである「義務教育段階の学習内容の確実な定着」は、現実的にニーズがあるとは思いますが、義務教育を経て高校に入学していることから考えると、矛盾を感じる。
- 大学等高等教育機関への進学希望が多い普通科において「生徒が学校を越えて共に学びながら切磋琢磨する機会を設ける」とあるが、多様な進路希望の生徒がいる普通科でも取り入れれば、生徒は刺激を得ることができるのではないかと。
- 東紀州地域の記述については、地域の声を聞いてまとめていただいております、わかりやすい表現になっていて良いと思う。少子化が進み、将来的に木本高校と紀南高校が統合することは仕方がない。その際、財政的に厳しいことは理解しているが、防災上安全な場所に新しい校舎を建てることを選択肢からなくさないでほしい。
- この計画は、これから先の10年を見据え、高等学校教育をどうするのかということについて、しっかりとしたスタンスを持って、県民に理解して貰えるように示していくためのものである。しかし、計画中の「検討します」や「進めます」といった表現は、中途半端な、責任逃れの感を受ける。